

報告

21 世紀の地学教育を考える
大阪フォーラム

第 8 回こどものためのジオ・カーニバル

西村昌能（21 世紀の地学教育を考える大阪フォーラム
第 8 回こどものためのジオ・カーニバル企画委員）

本研究会のご後援をいただいて毎年開催していますジオ・カーニバルが今年度も大阪市立科学館を会場に 2007 年 11 月 3 日（土）・4 日（日）に開催されました。早いものでこの催しも今回で 8 回目となりました。

ジオ・カーニバルは、小学生・中学生、その家族、教育関係者を対象にして、面白い実験・実習などをおとして科学の面白さや自然の大切さを伝える目的で実施しています。同様の取組である「科学の祭典」とは違い、自然科学の中で特に地学分野を中心に据えた取組を展開しています。また、セミナー形式の取組とブースでの出展の二本立てにしています。セミナーでは 30 名程度の小学生に対して 50 分程度の時間内で、演示や講義、説明のあと実験を行って頂いています。ブースでは時刻を決めて開始する取組やお客さんが適宜集合して行う取組があります。

地学分野には様々な内容が含まれます。私たちは、天文分野、地質分野、気象分野、環境・防災分野の 4 領域を設け、セミナーやブースに偏りが無いよう調整しています。

今年の参加者は 2 日間でのべ 4000 名でした。科学館の協力を得て、研修室、多目的室、アトリウム（ブース）、工作室（セミナー）と従来に比べて会場面積を大きく取りましたので、窮屈な感じはありませんでした（図 1）。



図 1 アトリウムの様子

科学館全体を活用させていただきました。

次に今年のセミナー出展とブース出展のタイトルを書きます。タイトルからおおよその内容が推測できます。

・セミナー出展

天文セミナー：「手作り☆★太陽系図鑑★☆☆」
（図 2）

気象セミナー：「科学の基礎と面白さがわかる
氷と雪の実験」

鉱物セミナー：「ホテル石で簡単宝石作り」

地質セミナー：「大阪・阪神・奈良の地質岩石
標本セミナー」

地球セミナー：「地磁気と磁石で遊ぼう」
（図 3）

・ブース出展

「飛び出す絵本で津波・地震」

「星がふえる星座箱」

「オリジナル星座を作ってみよう」

「虹の見える箱をつくろう」(図4)
 「サンタが贈る雪崩実験」(図5)
 「どこまで飛ばせる紙飛行機」
 「ようこそ不思議な石の世界へⅦ」
 「弁当パックで立体模型～火山の形を確かめよう～」
 「ようこそ！！ちがくのせかいへⅢ」
 「ハートの小石をつくろう」
 「ビックリ！逆さま風船 目指せ全問正解！地球温暖化クイズ」
 「惑星のペーパークラフトをつくってみよう」(図6)



図4 虹の見える箱をつくろう
 美星天文台輝線星観測グループの出展でした。



図2 手作り☆☆太陽系図鑑☆☆
 大阪教育大学天文学研究室・宇宙科学研究室の学生さん達がセミナー形式で行ってくれました。



図5 サンタが贈る雪崩実験
 遠く、北海道からの出展もありました。全国的な展開を見せています。



図3 地磁気と磁石で遊ぼう
 島根県立三瓶自然館からのセミナー出展。



図6 惑星ペーパークラフトを作ってみよう
 樟蔭中高の科学クラブの出展です。

出展者についてみると公募を充実したことにより、出展希望が増え、特に北海道、島根、山口、滋賀などの遠方からの出展も増えました。また、大学生、専門学校生、高校生からの出展が今年度もあり、裾野の広がりを見せています。

さて、来年度の第9回ジオ・カーニバルは11月1日（土）、2日（日）の両日、大阪市立科学館をお借りして開催することになっています。出展の公募も始まりますので希望の方はMLなどでのアナウンスに注意をお願いします。

なお、新しいHPのアドレスは

<http://geoca.org/>

です。この中に来年度実施予定の第9回ジオ・カーニバル出展者の募集要項があります。締切が3月31日です。ご興味のある方はご覧下さい。

参考文献

21世紀の地学教育を考える大阪フォーラム
第8回こどものためのジオ・カーニバル ガイドブック、2007、同企画委員会発行

西村昌能